



## 全国学力・学習状況調査結果報告

4月19日（木）に行った全国学力・学習状況調査の主な結果について、お知らせいたします。これは毎年小学校第6学年と中学校第3学年を対象としている悉皆調査です。目的は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることです。

## 教科に関する調査の結果

国語・数学・理科ともに、全体の平均正答率は全国平均を上回りました。また、領域別、観点別の状況でも、概ね全国平均を上回りました。しかし、結果は4月時点における学力状況の一部にすぎません。本調査に取り組んだ生徒それぞれに成果と課題があります。数値に一喜一憂することなく、今後も授業改善を継続し、生徒一人一人の学力や学習意欲の向上に努めていきたいと思えます。

【表1】全体の平均正答率

教科	国語	数学	理科
本校	○	◎	◎

## 【記号】

- ◎：全国+3.0ポイント以上
- ：全国0～+2.9ポイント
- △：全国0～-2.9ポイント
- ▲：全国-3.0ポイント以下

## 国語

内容	知識及び技能			思考力・判断力・表現力等		
	領域	使い方	情報	言語文化	話す聞く	書く
本校	◎	△	△	◎	△	○

## 【全国平均を大きく上回った問題の趣旨】

- 文脈に即した漢字を正しく書く。
- 自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫して話す。

## 【課題が見られた問題の趣旨】

- △自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。
- △場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える。

言葉の特徴や使い方に関する事項は、概ね良好な定着状況でした。課題となった事項について、授業では、心情を表す言葉を取り上げてその変化をたどったり、叙述の細かな違いに注意して読み、それぞれの叙述が表している心情の違いを考えたりする学習活動を充実させます。

## 数学

領域	数と式	図形	関数	データの活用	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校	◎	◎	△	○	本校	◎	○	/

## 【全国平均を大きく上回った問題の趣旨】

- 反例の意味を理解している。簡単な連立方程式を解く。
- 問題場面における考察の対象を的確に捉える。

## 【課題が見られた問題の趣旨】

- △箱ひげ図から分布の特徴を読み取る。
- △事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する。
- △筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する。



計算や数学の用語の意味などは、定着、習得できています。  
 課題となった問題解決の方法を数学的に説明することについて、授業では、例えば、表、式、グラフなどを問題解決にどう用いたかといった、問題解決に「用いたもの」と「用い方」について考え、説明できるような学習活動に取り組みます。

## 理科

領域	エネルギー	粒子	生命	地球	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校	◎	○	◎	◎	本校	◎	◎	/

### 【全国平均を大きく上回った問題の趣旨】

- 変える条件と変えない条件とを制御した実験を計画する。
- 化学変化を、分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表す。

### 【課題が見られた問題の趣旨】

- △上空の気象条件を、地上の観測データから推論した考察の妥当性について判断する。
- △化学変化と「エネルギー」領域の知識及び技能とを関連付け、「水素を燃料として使うしくみの例」の全体を働かせるためのおおもとになるものについて分析、解釈する。

どの領域についても、学習内容が定着しています。引き続き、生徒の主体的な科学的探究を大切にした学習活動で、生徒の資質・能力の育成に努めます。

授業では、身近な現象を探究する上で、領域を関連付けて分析、解釈する活動（例：光合成と化学変化とを関連付けて考え、説明するなど）に取り組みます。

## 生徒質問紙に関する調査の結果



### 【全国や県に比べて高い項目】

- 将来の夢や希望をもっている。
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 地域の行事に参加している。
- 授業では、PCやタブレット端末などのICT機器をよく活用している。
- 総合的な学習の時間では、自分の課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 学級活動における学級での話し合いを生かし、自分がすべきことを決め取り組んでいる。
- 国語、数学、理科で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

### 【全国や県に比べて低い項目】

- △毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- △自分にはよいところがあると思う。
- △困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- △自然の中で遊ぶことや自然観察をする。
- △地域の大人に学習やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりする。
- △地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。

本校の生徒は、周りの人を思いやり気遣ったりすることができ、また、夢や目標を持ち、自分がすべきことを決めて、粘り強く取り組んでいます。さらに、学習する意義や目的を意識しています。引き続き、人権尊重の精神を基盤とした教育活動を進め、子供が安心して生活できる学校づくりに努めるとともに、授業改善を推進し、生徒の主体的な学習につなげるようにします。家庭学習について、ご家庭と連携して量と質の向上を図ります。

地域との関わりについて、教科や総合的な学習の時間等において、地域の人・物・ことなどの資源を活用した授業を実施したり、地域の現状や将来を考え提言したりする活動を進めていきます。地域の皆様の温かな見守りにご協力を引き続きよろしくお願い致します。